

財政公表

詳しくはこちら



市民の皆さんが納めた税金などが、どのように使われたか「市の家計簿」をお知らせする財政公表。
今回は、令和4年度の決算概要と令和5年度上半期の予算執行状況をお知らせします。
※1万円未満は四捨五入

問合せ 財政課 ☎32-1171

令和4年度決算 一般会計

歳入総額 551億3,281万円

市税 218億7,220万円(39.7%)
＜内訳＞
固定資産税 104億9,389万円
市民税 92億3,683万円
都市計画税 9億897万円
市たばこ税 8億8,504万円
軽自動車税 3億4,747万円

国庫支出金 86億4,823万円(15.7%)

市債 48億910万円(8.7%)

繰越金 43億71万円(7.8%)

地方交付税 42億4,309万円(7.7%)

県支出金 37億2,311万円(6.7%)

地方消費税交付金 33億9,999万円(6.2%)

その他 41億3,638万円(7.5%)

歳出総額 513億5,775万円

民生費
208億5,142万円(40.6%)

総務費
74億5,313万円(14.5%)

教育費
51億3,088万円(10.0%)

土木費
51億274万円(9.9%)

衛生費
49億1,808万円(9.6%)

公債費
42億3,017万円(8.2%)

その他 36億7,133万円(7.2%)

歳入歳出差引額 37億7,507万円

翌年度へ繰り越すべき財源 5億2,107万円
実質収支額 32億5,400万円

歳出の説明

高齢者福祉・保育園・
生活保護など

人事・企画・
住民基本台帳・選挙など

小中学校・市民会館・図書館・
美術館・生涯学習など

道路・橋りょう・河川・公園など

住民健康診査・がん検診・
ごみ処理など

市債(市の長期借入金)の
元金・利子など

消防費・農林業費・商工費・
議会費・労働費

一般会計の決算額(551億3,281万円)を
年収500万円の家庭の収入と支出に例えてみると…

歳入

家庭の収入に例えた項目	収入額	割合
給料などの基本的な収入(市税など)	240.8万円	48.1%
親などからの援助(地方交付税など)	152.4万円	30.5%
パート・家賃収入など(分担金など)	9.3万円	1.9%
預金の引き出し(繰入金)	4.9万円	1.0%
前年度の残金(繰越金)	39.0万円	7.8%
雑収入(諸収入など)	10.0万円	2.0%
金融機関からの借り入れ(市債)	43.6万円	8.7%
合 計	500万円	100%

歳出

家庭の支出に例えた項目	支出額	割合
食費・日用品などの生活費(人件費など)	146.7万円	29.4%
医療費・教育費など(扶助費)	108.7万円	21.7%
ローンの返済(公債費)	38.4万円	7.7%
家屋や家電品などの修理(維持修繕費)	8.7万円	1.7%
友人などへの援助(補助費など)	46.8万円	9.4%
預金(積立金など)	32.2万円	6.4%
子どもへの仕送り(繰出金)	41.4万円	8.3%
家屋の増改築・車の購入など(投資的経費)	42.9万円	8.6%
翌年度へ繰り越し(歳入歳出差引)	34.2万円	6.8%
合 計	500万円	100%

令和4年度決算 特別会計

■市が特定の事業を行う場合や、特定の収入をもって特定の事業に充てるために設けられた会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額
国民健康保険	124億7,159万円	122億6,753万円	0万円	2億406万円
介護保険	99億656万円	93億8,278万円	0万円	5億2,378万円
後期高齢者医療	39億7,209万円	38億9,104万円	0万円	8,105万円
稲沢西土地区画整理事業	5億58万円	1億373万円	5,925万円	3億3,760万円

令和4年度決算 企業会計

■市が独立採算制を原則とする企業の事業を行うために設けられた会計

会計名		収入決算額	支出決算額
病院事業	収益的	77億8,928万円	70億9,831万円
	資本的	12億2,076万円	13億1,825万円
水道事業	収益的	28億8,765万円	22億9,644万円
	資本的	9億413万円	26億8,489万円
公共下水道事業	収益的	19億4,275万円	18億2,013万円
	資本的	13億9,981万円	22億4,676万円
集落排水事業	収益的	2億7,444万円	3億3,364万円
	資本的	7,212万円	7,212万円

収益的収支

企業の経営活動に伴って発生する収益とそれに対応する費用

資本的収支

企業の将来活動に備えて行う建設改良と企業債の償還金支出とその財源となる収入

※資本的収入額が資本的支出額に不足する額は過年度分損益勘定留保資金などで補てんしました

令和4年度の主な事業

新型コロナウイルス感染症対策

- 住民税非課税世帯への臨時特別支援
- 子育て世帯への臨時特別給付金の支給
- 電力・ガス・食料品等の価格高騰に対する緊急支援
- 保育園・小・中学校の給食費無償化
- 農業用機械等の導入に対する支援
- 肥料価格高騰に対する支援
- キャッシュレス決済の拡充

民生費

- アウトリーチ関連事業
- 多胎児を出産した保護者に対する育児費用の助成
- 保育園 ICT 化事業
- 保育支援者配置事業の拡充

総務費

- 申請書作成支援システム導入事業(市民課、おくやみコーナー)
- 特殊詐欺対策装置の設置補助
- 電気自動車配置事業の拡充



教育費

- 小・中学校にタブレット PC 用のデジタル教材の導入
- スクールサポートスタッフの拡充
- 小・中学校の改修工事
- 電子図書館導入事業



土木費

- 道路整備事業(生活道路の補修など)
- 街路整備事業(井之口線、祖父江稲沢線など)
- 新川・福田川流域の浸水対策事業
- 稲沢ライトアップ整備事業
- 三世代すまいる支援事業

衛生費

- 脱炭素推進を図るロードマップの策定
- 公共施設照明 LED 化事業
- 電気自動車等充電設備の設置補助
- がん治療に伴うウィッグ等の補整具購入費用の助成

消防費

- 消防団詰所(第1・第2分団)整備事業
- 避難所公衆無線 LAN 整備事業

商工費

- 創業経営支援センター「スタートアップいなざわ」の設置
- ご当地グルメ開発事業



農林業費

- 水田麦・大豆の生産性向上に対する費用の補助